

【テーマ（１）高い資質能力を有する教師の確保に関する調査研究】

4 教師不足を含む教師の人材確保に関する近年の課題への対応（２『教師の仕事』発信の取組支援）

地方圏の高校生に対する『教師の仕事』の魅力の発信
——志望段階から養成段階における接続の「質」の向上の取り組み——

調査研究の目的・概要

教員養成段階の前段階にあたる志望段階（高校生）に着目し、『教師の仕事』の魅力を発信した。具体的には、「未来の教師育成プロジェクト」（鳥取県）／「教育人材育成プロジェクト」（島根県）を、14校延べ高校生535名を対象に実施し、プログラムの効果検証も行った。これらに取り組むことで、教職志望者の裾野を拡げるとともに、教職課程の履修におけるミスマッチの減少という、志望段階から養成段階における接続の「質」の向上につながる可能性が見出された。

調査方法と取組のポイント

Step1:プロジェクトの実施

取組①
「教師の仕事」の
魅力の発信

●取組の概要●

教職の志望段階にある高校生を対象に「未来の教師育成プロジェクト」（鳥取県）、「教育人材育成プロジェクト」（島根県）、「大学体験入学プロジェクト」を実施した。

●取組方法●

山陰の高校14校延べ535名を対象として、主に大学教員・大学生が、講話や座談会を通して教職の魅力、大学での学び、教員採用試験等の養成・採用段階について発信した。

連携

取組②
プロジェクトへの
大学生の参画

●取組の概要●

大学生が【取組①】に参画することで、高校生にとってのロールモデルになると同時に、大学生自身の教職に就く意欲が高まる取組を行った。

●取組方法●

「未来の教師育成プロジェクト」（鳥取県）、「教育人材育成プロジェクト」（島根県）に、それぞれの対象校出身の大学生が中心となって参画し、「教師の仕事」の魅力を発信した。

連携

Step2:効果検証

取組③
プロジェクトの
効果検証

●取組の概要●

アンケート調査によりプロジェクトの効果を検証した。

●取組方法●

①【取組①】に参加した高校生に対するアンケート調査（ $N=261$ ）及び大学生に対するアンケート調査（ $N=98$ ）に加えて、「未来の教師育成プロジェクト」対象校の高校1年生を対象に質問紙調査（ $N=1518$ ）を実施し、分析した。

連携

島根県教育委員会
鳥取県教育委員会
との連携・協働

【取組①】・【取組②】において、プロジェクト対象校との連絡・調整はもとより、山陰両県教育委員会が作成した教員募集動画等を活用しながら、大学と教育委員会が連携し、プロジェクトがより魅力的なものになるよう取り組んだ。【調査研究】では、教育委員会を通して調査依頼を行い、高い回収率（81.5%）での調査が実施できた。

成果と課題

【取組①】 高校生の教職への関心の変化度（5件法）の平均値（4.39）が目標値（4.00）を上回った。

【取組②】 大学生の教職への理解の変化度（5件法）の平均値（4.47）が目標値（4.00）を上回った。

【調査研究】 プロジェクト参加者は、不参加者と比較してそもそも教職を検討している割合が高いことが示された。

【事業全体】 本報告書を取りまとめるとともに、分析結果は島根県・鳥取県の教育委員会、プロジェクト実施校と共有した。また、本報告書は今後、webサイトに掲載する予定である。